

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

五省

- 一 至誠は悔るなりしか
- 一言行は恥るなりしか
- 一 氣力と心をなかりしか
- 一 努力は憾みなりしか
- 一 不精は眞なりしか

懐しく、ちよつと悲しく 大切に祝いたい一里塚の正月

兼久文治

新春随想

年賀特別郵便の取り扱いは明治の終わりころに制度化されたらしいが、終戦をはさんで数年間中止されただけ。私の父は頑固な明治男で、年賀状は「書き初め」の二日に書くものと決め、家族にもそれを押しつけていた。年末に出せば元日の朝に、遅くとも三が日には配達されるのだから有難い制度だ。しかし年明けのあいさつを、押し詰まった

年末に先取りするのだから、書く方にとって現実だ。結果的に賀状を形式化させた元凶ともいえる。私の父は頑固な明治男で、年賀状は「書き初め」の二日に書くものと決め、家族にもそれを押しつけていた。年末に出せば元日の朝に、遅くとも三が日には配達されるのだから有難い制度だ。しかし年明けのあいさつを、押し詰まった

この歌を思い出すのだが、年末に出す時は正月の天気はわからないので書くこともなくなっていました。明治四十四年、琢木二十六歳の作で、この年は「今年ほどたつきん正月の歌を作った年はない」というほど正月の歌が多い。死後出版された「悲しい玩具」に掲載されているが「いつの年も、似たような歌を二つ三つ、年賀のふみに書いてよこす友」とか「過ぎゆける一年のつかれ出しものか、元日というに、うとうと眠し」など懐しい新年の歌が並んでいる。翌四十五年の正月は病んで歌を作る気力もなかったらしく、わずかに函館の友への賀状に添えた「今もなほ病に癒えずと告げてやる文さへ書かず深きかなしみに」の一首が残っている。これが琢木の最後の歌になり四月に亡くなった。人の世のはかなさをしみじみと感じる。今年も琢木没後八十年になる。はかないといえれば「茶の有名な句に「門松は冥土の旅の一里塚」と宣言した永井さんがある。しかし、これは決してつむじ曲がりな皮肉な句ではない。といったのは作家の永井竜男さんだった。「冥土の一里塚にもなりかねない正月だから、もう一年、一年大切にお祝いしたいものだ」という気持ちだと説いている。私もそう解釈したい。

（北日本新聞「天地人」執筆）

晩年の永井さんは正

三十周年の新年を迎えて

西能 正一郎

あけましておめでとうございませう。平成四年のお正月を迎えました。皆様お変わりなくお揃いでお雑煮でお祝いされておられますことをおよろこび申し上げます。今年、この三月で私共の病院がスタートして三十年目を迎える節目の年であります。思えば決して平坦な道ではありませんでしたが、今年もまた職員の方々と新春を祝うことが出来ますことは、ひとえに私共の医療活動をご理解賜わり、ご支援いただいております皆様のお陰であると厚く御礼申し上げます。

地域活動と専門医療の両輪で

地域医療チームを編成して、在宅入浴サービスを足がかりに動き始めました。昨年二月には在宅介護シヨブ・シブも開店しましたし、六月には特別養護老人ホーム梨雲苑の開設に漕ぎつきました。内科を中心としたこの地域活動と専門医療の提供が昨今の病院の車の両輪であると心得ておりますので、地域の皆様のご利用を賜わりますよう、お願い申し上げます。

この三十年間を振り返ってみますと、腰痛症を主体にした脊椎外科の専門病院として、

医療法改正の結果、殆ど全国の病院のベッド数が凍結されて、新病院を建設することも増築することも許されなくなりました。そして六十二年の老人保健法の改正により、それに替って老人保健施設として、高齢者の皆さんの受け皿にしようというものであります。昨年からは又、在宅の高齢者サービスとして、デイケア、ショートステイ、在宅介護支援セン

に添えた「今もなほ病に癒えずと告げてやる文さへ書かず深きかなしみに」の一首が残っている。これが琢木の最後の歌になり四月に亡くなった。人の世のはかなさをしみじみと感じる。今年も琢木没後八十年になる。はかないといえれば「茶の有名な句に「門松は冥土の旅の一里塚」と宣言した永井さんがある。しかし、これは決してつむじ曲がりな皮肉な句ではない。といったのは作家の永井竜男さんだった。「冥土の一里塚にもなりかねない正月だから、もう一年、一年大切にお祝いしたいものだ」という気持ちだと説いている。私もそう解釈したい。

あすなろ

新年おめでとうございませう。さて今年もサルが流行した。片手を後ろに回し、片手を机上に置いて頭を垂れる。悪徳政治家もマンガで反省ザルにたとえられたが本当に反省したかどうか。ところが新年早々恐縮だが、このサルの調査でギョツとしたことがある。淡路島の野生ザルの観察を続ける中橋利和、久美さん夫婦の報告で、生まれたサルの二割が何らかの障害を持つ奇形サルだったという。自然から追いつた野生ザルを餌づけして二百匹以上に増やしたのに……と夫婦は嘆くが、どうやら原因は母体に蓄積した高濃度の農薬とわかった。さらに元をたどったら知らずに与えた輸入トウモロコシが汚染していたらしいという。サルが自分のしりの赤いのに気付かず他のしりを笑うたとえ。自分の与えた餌の毒に気付かなかつた夫妻の無念さはたとえようがない。足腰が立たぬ子ザルが無邪気な目をくるくるさせて餌をねだるのを見て中橋さんは反省せねばならぬのはサルでなく人間だという。悲しいサルの話。

平成四年
医療法人 財団五省会

- 本年もよろしくお願い申し上げます
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|---------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 理事 西能正一郎 | 理事 中永久光 | 理事 西能 竑 | 理事 住 博司 | 理事 中尾 哲雄 | 理事 米田 寿吉 | 理事 石川 実 | 理事 寛田 英二 | 理事 稲垣 忠一 | 理事 大上紀美雄 | 理事 尾山征一郎 | 理事 神沢 幹夫 | 理事 河上弥一郎 | 理事 西能 綾子 | 理事 西能 孜 | 理事 坂本 重一 | 理事 笹山真治郎 | 理事 土田 亮一 | 理事 古沢 富美 | 西能病院職員一同 |
|----------|---------|---------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|

北島さんが、この日富山市秋ヶ島、県総合体育センターの空温水プールで、午後五時すぎ、役所から車で直行して来た。広々とした室内の温度は二十度、水温は二十九度。入念な準備体操のあと、ゆうゆう十往復(一キロ)をプールで泳ぎきった。時間にしてやく三十分。息ぎれ



プールに飛びこんだ北島さん

富山市本郷町 公務員 北島信弥さん(51)

長生きのすずめ

「さあ、いただきます」
「おいしい、おいしい」と、口をもぐもぐさせている二人をみつめたが吉野さんはにっこり。通りかかった看護婦さん立ちどまり、「まあ、かわいい」と。

ふあれい

「おいしい、おいしい」と、口をもぐもぐさせている二人をみつめたが吉野さんはにっこり。通りかかった看護婦さん立ちどまり、「まあ、かわいい」と。



ちっちゃな、おやつにも嬉しい二人と吉野さん

心身共に豊かに
「キロ泳いでも疲れが残らない」

入浴や歯科診療
ねたきり老人のサービス

老人福祉の手引
市と高岡市では、在宅でねたきりのため歯科診療を受けることが困難な高齢者に対して、家庭訪問歯科診療を行う。

変わる医療状況
高齡化社会を迎え、医療は大きな変革期にあるという。

わたしはこう思う
北日本新聞社 常務取締役 金子 克己氏

対談
西能 正一郎氏

「お正月は、なにが」
「一番好きは」
「お正月は、なにが」

実践的な企画立案
長期的視野に立つて

業務推進会議
信頼と奉仕

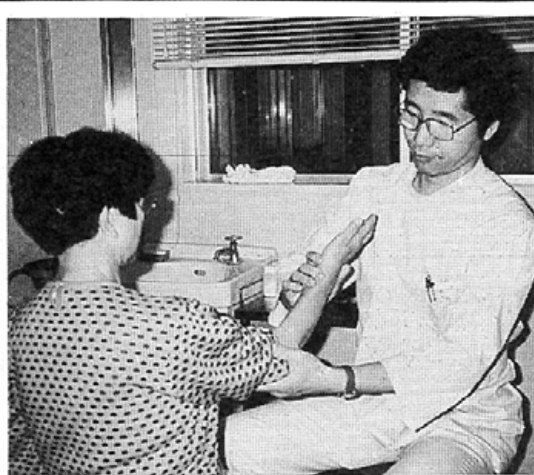
変わる医療状況
高齡化社会を迎え、医療は大きな変革期にあるという。

わたしはこう思う
北日本新聞社 常務取締役 金子 克己氏

対談
西能 正一郎氏

リハビリ日記

飛田 勉
リハビリテーション
「この自分の業務が、果して、どれくらい患者さんのお役にたっているだろうか、これほど喜ばれ、感謝されているだろうか」と。



患者さんに手の運動を指導する飛田さん

リハビリテーション

「お正月は、なにが」
「一番好きは」
「お正月は、なにが」

病床日記

福田 しづか(67)
小矢部市後谷
お正月は家に帰らず、久しぶりに「ミルク」に会えるのが楽しみの「ミルク」はメルクのペルシャ猫で、ミルクをみる。

新春を病床で迎えて

お正月は家に帰らず、久しぶりに「ミルク」に会えるのが楽しみの「ミルク」はメルクのペルシャ猫で、ミルクをみる。

実践的な企画立案

業務推進会議のメンバーは七人で構成されており、委員長と委員が

変わる医療状況

高齡化社会を迎え、医療は大きな変革期にあるという。

わたしはこう思う

北日本新聞社 常務取締役 金子 克己氏

対談

西能 正一郎氏

わたしはこう思う

北日本新聞社 常務取締役 金子 克己氏

わたしはこう思う

北日本新聞社 常務取締役 金子 克己氏

わたしはこう思う

北日本新聞社 常務取締役 金子 克己氏

わたしはこう思う

北日本新聞社 常務取締役 金子 克己氏

「三十周年記念年間」プロとしての研究と努力を 目院 標長

平成四年の新しい年を迎えて、西能院長は次の目標をあげて職員に呼びかけ、「あけましておめでとうございませ...

新春抱負



門口さん

新しい環境の中で自分自身も初心に帰り、常に気づきのある看護をめざして頑張りたいと思います。



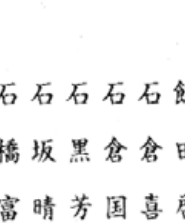
林さん

余裕をもって患者さんに接し、ゆとりのある看護を目ざします。



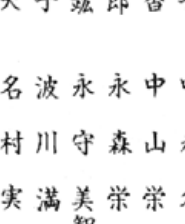
松井さん

努力してゆきたいです。



永守さん

病克服の手助け



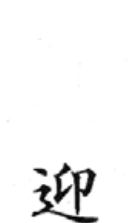
吉野さん

病克服の手助け



山下さん

温もりの食事を



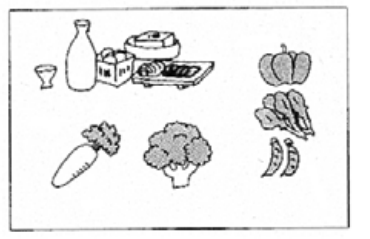
多賀さん

安全運転を心がけ

栄養メモ

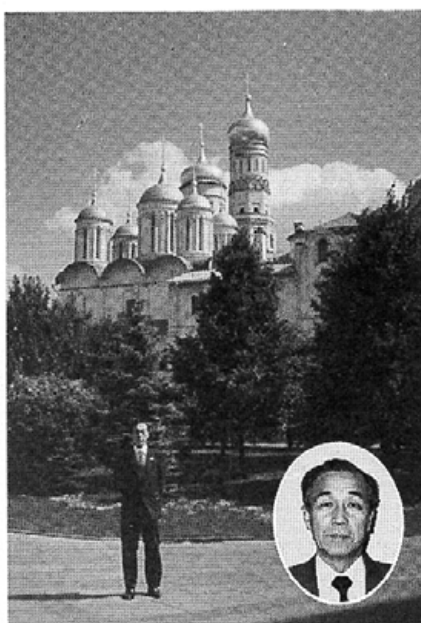
お酒の御業には

昔から梅干とうなぎ、天ぷらとすいか、かにと柿... このような食べ合わせを...



これは、大根やとろろに、でんぶんを分解する酵素が含まれているからです。

思い出アルバム



クレムリン宮殿を背景に...

二十四年前の国際鉱山学会

私が国際鉱山学会の日本代表の一員としてモスクワとウクライナを訪れたのは昭和四十...



中永久光

五省会常務理事

今から二十四年前、ロシア革命五十周年で共産主義を謳歌していた当時と今は隔世の感があります。

ウオッカと、おいしい葡萄酒とキャビアの歓迎に会いました。

お正月酒には肝臓によい肉、卵、魚、豆腐製品、そして緑黄色野菜をとるよう心がけ...

Table listing names of staff members in columns, including names like 栗原純子, 熊野厚子, 木下美和子, etc.

迎春

本年もよろしくお願ひ申し上げます

医療法人 財団五省会 西能病院職員一同